明日へチャレンジ

●企業名　有限会社　やまじゅう　かほく市浜北八21-1
TEL076(283)3455　FAX076(283)3448
●資本金　300万円　●雇用従業員　10名（パート85名）
●代表者　西田　豊氏（38歳）
●創　業　西暦1973年12月
●業　種　飲食業
●取　材　広報委員　竹田　登　竹田宏次工場

かほく市内の企業をシリーズで紹介しています。
今月は、民宿「やまじゅう」の愛称で親しまれ、新鮮でボリューム満点の家庭料理を堪能していただいて、お客様の「幸福」と「笑顔」を与えるお料理の提供に尽力している企業をご紹介します。

㈲やまじゅう
代表者
西田　豊 氏

竹田　本日は大変お忙しいところ、お時間を頂きましてありがとうございます。広報委員の竹田です。今回はよろしくお願い致します。

西田　こちらこそ、よろしくお願い致します。

竹田　さて西田さん、お料理ですが人気がありますね。その秘訣は何ですか。

西田　たぶんボリュームだと思います。旬の食材をふんだんに使うことは特に先代がこだわりを持っており、それが我が社の目玉となっています。父親が市場へ仕入れに行っていた頃、魚は必ず箱で買い付けてきました。量は多いのですが箱で買い付けることで魚一匹の単価が安くなることと、お客様に量で還元するととても喜んでいただけたからです。

竹田　私も何度かやまじゅうさんを利用したことがありますが、その量の多さに圧倒されました。不思議なことに沢山のお料理を目の前にすると何故か嬉しくなりますね。そのことが人を惹きつける魅力となっているように感じます。西田さんは昔から飲食業を営んでいたのですか。

西田　いいえ、違います。飲食業をする前は織物工場を経営していました。その織物工場を経営する傍ら、母親が家庭料理をメインに居酒屋を営業し始めました。その居酒屋の仕事を始めてから8年後に、織物機械の買上げがありましたので、機械を全て処分し廃業して、居酒屋一本での操業になりました。この頃は景気も高度成長期の波のお陰で良かったこともあり、居酒屋の営業が軌道に乗りました。父親が家を建てる計画を立てたとき、お客様が宿泊できるような民宿にしようと決めたそうです。居酒屋付きの民宿となり、現在の原型ができたわけです。

竹田　民宿にする切っ掛けとなったのはどのような理由からですか。

西田　居酒屋をやっているとき、そこへ来る常連のお客様から「泊まることができればいいね」とか、また知人のアドバイス等を受けて、お客様がこの地域に宿泊施設を求めていることが分かりました。そこで、上手くいかなかったらそのまま自宅にすればいいと腹を括り、庶民的な家庭料理を提供する民宿やまじゅうが営業開始しました。旬の新鮮なお魚料理、カニや鯵子など季節のお料理、県外からのお客様には珍しい「くにゃら」や「ガス海老」など提供させていただいており、ボリューム満点のお食事をお腹一杯食べることできるということで、岐阜県・長野県など海のない地域からお魚を求めてやってくるようになりました。私は家業に入った当初、父親がそのお客様を金沢駅まで送って行ったり、金沢の観光地まで車で送って行ったりするのを見て、「なんでそこまでするんだろう」とやり過ぎのように感じていました。

竹田　そう思うのが普通だと思いますよ。

西田　しかし、その行為がとても大切なことだったのだと、今になって気づかされました。なぜならば、その時のお客様が父親に親切にしていただいたことを忘れずにいてくれて、未だにリピーターとなって来てくれていますし、尚且つその人が友人や知人に話をすることで口コミの評判が広まり、それを聞いた方々までが来てくれるようになっているからです。お客様に喜んでもらえることの大切さを父親から学びましたが、しかしながらその真似をすることは大変に難しいと感じています。

竹田　そんなお父さんの後を引き継いで大変ですね。

西田　いいえ、その行為が営業努力なのか好んでやっていたのか分かりませんが、お陰でこれほど大きな規模になったと感謝しています。

竹田　ご苦労も多いのではないでしょうか。

西田　そうですね。基本は家庭料理と素朴な接客ですので、地元かほく市を中心に沢山のパートさんアルバイトさんに働いてもらってます。年齢が10代の学生さんから70代の年配の方まで多くのいろいろな方がいますので、いかにコミニュケーションを計りながら適材適所で働いてもらうとか、また日々いろんな問題が生じたときの最終決断が社長である私の判断にかかっていることもありますので、その点で気苦労などがありますね。

竹田　そうですか、それは大変ですね。現在は経営者ですが、そのための修行や経験などしましたか。

西田　私は大学を出て、民間企業に3年間ほど就職しました。そこでは事務仕事だったので、全くと言っていいほど飲食関係の経営に関する経験はありませんでした。その会社を退社し、家業の仕事に付いてから初めはトイレ掃除から始まり、年配の方から魚の処理方法を学び、調理なども行ってきましたので、一通りのことは何でもやってきました。この経験が活かされ、現在は人を回すという点で大きく役立っているように感じます。また、私に商売の経験が無くても、地元の良いところは従業員

シンポジウム開催

外国人在留資格問題
「外国人在留資格問題」

日　時：平成２４年2月１８日(土)
第１部　講 演　13:00～14:30
菜香樓　総支配人　魏　賢任氏
第２部　パネルディスカッション　14:40～16:00
第３部　無料相談会　16:10～17:00
会　場：石川県地場産業振興センター　新館コンベンションホール
金沢市鞍月２丁目１番地
問合せ：石川県行政書士会　TEL076-268-9555

商工会の業務災害保険をスタート!!

平成24年1月より商工会の団体割引を適用した業務災害保険の取扱いを開始いたします。保険商品の特徴は次のとおりです。

通勤途中を含む業務上の事故による
死亡・後遺障害を補償します！
（入院・通院は補償されません）

補償内容・保険料等の詳細につきましては商工会へお問合わせください。

ランチェスター経営戦略の４回コースを受講して

一番に感じた事は理論ばかりでおもしろくない、わかりづらい４日間でした。しかし、日常なにげなく行っている事をランチェスターの理論にあてはめると今までやってきた事の良い所、悪い所、間違った考え方などがわかりやすく理解でき自分の課題がはっきり見えてきました。

①会社でも家でも社長たるものが、しっかりブレない方針をたてる。会社運営の良し悪しは社長の方針が70%を占める。はじめは理解できなかったが、受講終了時には納得できた。

②一番となるものを持つ、他店に負けないサービス、商品、営業何でもいいから一つ、一番を持つ事により一番の連鎖により２乗して集客、売上げが向上する人も一つ他人より良い物を持つと自信につながりより向上し、他人とも良い関係が生まれ相互向上につながります。

商工会主催の講習会、自分を見つめ直し次へのステップのチャンスが生まれるかも、ほど良い刺激剤として有効に利用させて頂いています。　道原　章雄（やきとりとんがらし）

青年部　沖縄交流事業

冬休みの出来事：遠田拓口

一月七日から九日に沖縄のとみぐすく市から大田みずき君と小学五年生の男の子がぼくの家にホームステイに来ました。お父さんの商工会の行事で家族みんなで受け入れました。ぼくは、どんな男子と年の近いかドキドキワクワクしながらその日をまっていました。

一月七日の午後一時四五分に小松空港にとう着しました。飛行機を初めてみたぼくは一時ぜっ対に仲よくなるぞと思いてみずき君でしょう介をしました。小松空港の前で家族とみずき君でじまました。雨がふっていたので車の中でしばらくまってました。

夜、やまじゅうで沖縄の人たちとみんなで、夜ご飯を食べました。油野かほく市長さんがかほく市のPRをいっぱいしょうしました。

ルコマンンのめいにしていました。PFUのスパコンとピーロの事でした。

次の日の朝は六時起きでした。イオックスアローズへスキーをするのに行きました。ぼくは、みずき君と妹とスキーはとっても上手にすべる面白かったです。僕もみずき君も、教室に入りました。お父さんがたくさんつれるようになりました。お父さんがうったのでうれしかったです。そして、四時までいっぱいすべりました。

帰りにお風呂に入って帰りました。

当選おめでとうございます
11月号読者プレゼント

11月号「お店紹介」の読者プレゼントに沢山のご応募をいただきありがとうございました。

応募総数172通のハガキの中から抽選しましたところ、次の皆様が当選されました。おめでとうございます。

今回当たらなかった応募ハガキはW抽選に回ります。ご期待下さい。

日本ツアーシステム　イオンかほく店　旅行ギフト券25名様

虎谷　洋子(遠　塚)坂井　龍介(遠　塚)狩谷　亘(高　松)
今村　信(横　山)山井　秀樹(外日角)内潟　美咲(外日角)
荒木　道子(七　窪)塩本みちよ(宇野気)山本　道雄(宇野気)
秋山　広宣(横　山)沢野　聡(木　津)南　良香(指　江)
大田むつみ(中　沼)羽喰　幸枝(木　津)東中千代枝(横　山)
山田登志子(内日角)竹本　泰高(二ツ屋)紺谷　梓(大　崎)
山岸　沙織(宇野気)山口　啓子(浜　北)山川　勇(余　地)
梅谷　正(松　浜)北　侑未(浜　北)木村　麗子(高　松)
能任理一郎(外日角)　（敬称略）

すし八　ランチ券10名様

桑名　和子(遠　塚)吉岡　耐治(高　松)板坂　洋一(高　松)
素野　房恵(白　尾)森内　豊枝(　森　)岡田　清美(高　松)
佐藤　紀子(松　浜)近藤　研吾(高　松)西島すみ子(長柄町)
博多三津子(高　松)　（敬称略）

今月号にも読者プレゼントを掲載しております。皆様のご応募をお待ちしております。